

報道関係者 各位

2010年1月21日 日本科学未来館

企画展

「きみのみらい・みらいのきみ」

かこさとしと探しにいこう、絵本の中へ

2010年3月20日(土)より開催

にっぽんかがくみらいかん
日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛、所在地:東京都江東区青海)は、2010年3月20日(土)～5月10日(月)まで、企画展「きみのみらい・みらいのきみ かこさとしと探しにいこう、絵本の中へ」を開催いたします。

本展は、日本を代表する絵本作家、かこさとし氏が科学をテーマに描いた絵本を通して、科学技術が見据える未来を分かりやすく伝える企画展です。

テーマは「人間:地球に生きる私たち、どこから来て、どこへ行く?」。私たち人間は、生物として生きるだけでなく、より便利に、より豊かに生きていくために、人類特有の「文明」を生み出して社会を築いてきました。しかし、それと同時にさまざまな問題や課題も生み出しています。本展ではかこ氏の絵本を中心に、先端の科学技術のビジョンや新しいものの見方、捉え方を紹介し、未来の人間のあり方について考えます。

展示はかこ氏がガイド役となりストーリーが展開します。人間の進化の過程を振り返りながら、「人間らしさ」を、「こころ」、「言葉」、「道具」、「地球に生きている」という4つのテーマで捉え、その特徴にかかわる先端の科学技術として、「脳科学」、「情報技術」、「バイオ・ナノマシン技術」、「宇宙生物学」の研究成果を紹介します。展示物は、大きな絵本を彷彿とさせるグラフィック展示。来場者は本の中に入り込むような感覚を楽しめます。一部、かこ氏の絵本作品を本展に合わせ再構成し、書き下ろしたイラストも加え、先端科学をわかりやすく伝えます。

かこ氏の絵本には、時代を経ても変わらない、私たちが人間として生きるために重要な視点が描かれています。「自分で判断し、行動できる、かっこい子どもになってほしい」との願いのもと、絵本を通じて科学を伝えてきました。最初の絵本「だむのおじさんたち」の出版から、2010年で半世紀を越えます。

会期中、子どもから大人まで楽しめる関連イベントを開催予定。3月20日(土)には、かこさとし氏をお招きし、公開記念トークイベント「かこさとしに会おう!話そう!聞いてみよう!」を開催いたします。

本展は、科学と絵本が出会う場所です。かつて子どもだった大人も、いまの子ども達も、一緒に未来について考えてみてください。

■概要■

会 期 2010年3月20日(土)～5月10日(月)
開館時間 午前10時～午後5時(入館は閉館時間の30分前まで、5/1～5/5は午後6時まで開館)
場 所 日本科学未来館 1階 シンボルゾーン(住所:東京都江東区青海2-3-6)
休 館 日 毎週火曜日(※ただし3/30、5/4は開館)
入 場 料 無料(※ただし、その他の企画展、常設展示は別料金)
主 催 日本科学未来館
企画・制作 日本科学未来館
アドバイザー かこさとし

一般からのお問い合わせ先	このリリースに関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL:http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 広報室 広報グループ (press@miraikan.jst.go.jp) 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

[展示構成]

はじめに:かこさとしアトリエへようこそ

かこ氏が絵本制作に使用している文具や資料を展示。子どもや科学について考え続けてきた氏の智の蓄積を知るコーナー。

第1章 いろいろな君(現在)

私たちは、どのような環境に生きているのかを考えます。「個として」、「社会の中」、「地球の中」、「宇宙の中」という、さまざまな空間的広がりの中で、私という存在を捉えます。

第2章 君を君としているもの(過去)

私たちが、どのような特徴を持った存在なのかを再認識します。人間の進化の過程を振り返ることで、私たちの「人間らしさ」を作り上げている特徴、「こころ」、「言葉」、「道具」、「地球に生きている」を知り、それらが第1章の「さまざまな環境」と関わり合い、形成されていることを伝えます。同時に、それらが作り出した私たちが抱える問題についても考えます。

第3章 君はどこへいくのか(未来)

第1章と第2章を踏まえ、人間がどこへ向かおうとしているのかを考えます。今後私たちがどのような環境の中でどのような存在として生きていくのか、4分野の研究者たちが見据える未来のビジョンを紹介します。

「健やかなこころはどう育める？」(監修:独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター ヘンシュ貴雄 「感受性期研究」)

近年の脳科学で、環境によって脳が作られる仕組みが少しずつ明らかになってきました。環境によって脳が変化を受けやすい、脳の感受性期研究の中に、健やかな心を育むためのヒントを見つけます。

「みんながともに暮らすには？」(監修:株式会社サルガッソー 代表取締役社長 鈴木健 「伝搬投資貨幣」)

ネットワークの拡大により、私たちは世界中の人たちと、コミュニケーションが取れるようになりました。言語の壁を越える音声翻訳機や、現代の貨幣システムの問題を情報技術を使って克服しようとする試みを取り上げます。

「これからも地球に住める？」(監修:大阪大学大学院生命機能研究科 教授 難波啓一 「バイオナノテクノロジー」)

地球を守るには、材料やエネルギーを無駄にせず、リサイクルできるものづくりが必要。身近な生物を観察し、その原理をまねることで、これまでにない新しい価値観に基づいたものづくりが可能になるバイオ・ナノマシン技術を紹介します。

「宇宙には他にも生命が？」(監修:横浜国立大学大学院工学研究院 教授 小林憲正 「宇宙生物学」)

最新の太陽系内・系外惑星探査により、明らかになりつつある地球外生命の可能性を通して、人間は宇宙生命のひとつであるという視点を伝えます。

あとがき

かこ氏のこれまでの活動や、絵本を描く試行錯誤の様子を伝える原画を紹介。未来を生きる子どもたちへのメッセージも伝えます。

[参考]

かこさとし(加古里子)

絵本作家、児童文化研究者。工学博士、技術者(化学)。1926年福井県生まれ。東京大学工学部応用化学科を卒業。1959年より児童文化の調査、出版活動を行い、現在までに、作品数は約550点に及ぶ。代表作品は、「だるまちゃんどてんぐちゃん」(1967年)、「はははのはなし」(1970年)、「からすのパンやさん」(1973年)。



かこさとし氏からのメッセージ

今、君はどんな空間の広がりの中にいるのだろう？

どんな時間のながれの中にいるのだろう？

いつもよりずっと広く長いまなざしで、今の君をとらえてみよう。

そうすれば、未来はくっきりとした輪郭をもって目の前に姿をあらわすだろう。



※本件に関するプレスリリース、及び関連画像は未来館ホームページよりダウンロードしてご利用いただけます。

URL: <http://www.miraikan.jst.go.jp/j/press/>